

リズム創作1年（他の活動も平行して実践するが、5時間扱い程度）

①「くいしんぼうのラップ」（教科書 p.54-55）

楽譜の通り、クラス全体で実技の活動、

2分の2拍子の説明は詳しくしないが、2拍を1拍としてカウント

（列毎にパート分けをする。パートは固定せずに、いろいろなパートを経験させる）

クラス全体で、速度をかえてみて、音楽の雰囲気がどう変わるか実感させる。

強弱を工夫させて、楽譜に書き込み、何人かに発表させ、それをクラス全体で試す。

強弱の変化をつけると、音楽の雰囲気がどう変わるか実感させる

②楽しいリズム曲をつくろう(教科書 p.52-53)

教科書通り進める。（リコーダーのトゥー、トゥーは今年は省略）

活動1の「言葉からリズムを作る」活動は、丁寧に扱う。

活動2で用いる言葉（2小節分）が③の創作につながる。

活動ごとに、個人でできたら、スタンプを教科書におすなどして、意欲を高める。

③チャレンジ

ワークシートを配付して、二重奏のアンサンブルを創作させる。

活動2で作った2小節のリズムを、4小節2パートに広げていく

休符を書き忘れる生徒が多い。（二分休符の指導）

追いかけ型、分割型、同時進行型など、教科書の説明を使って、重なりを工夫させる。

余裕のある人は、速さのメトロノーム記号や強弱記号を加えさせる。

楽譜が完成したら、持ってこさせて、スタンプをおす。

音符の足し算（小節の拍数）について、ここでかなり厳密に指導する。

④ペア練習

2人ペアをつくり（これまでは座席の隣の人と）、自分の作った二重奏の2パートの部分を隣の人に演奏してもらおう。

リズムにのって、演奏するようアドバイス。

⑤発表会

発表会前時に楽譜を回収する。

PDF化して、発表会当日、テレビにうつす。

ワークシートの楽譜の下にある、工夫したところを口頭で説明してから、演奏させる。

発表会では、相互評価表に記入しながら鑑賞させる。

教師も同じ評価表を用いて、評定資料とする。

♪ 楽しいリズム曲をつくろう ♪

組 番 名前

チャレンジ リズム（言葉）のつなげ方を工夫して、4小節の曲をつくろう。（1小節には2枚のカードが入ります。）
歌詞は漢字を使わず、ひらがな、カタカナで書こう。歌詞のないところには、休符を忘れずに！

作品名	ラップ
-----	-----

1	2								
	2	()	()	()	()	()	()	()	()
2	2								
	2	()	()	()	()	()	()	()	()

自己PR（工夫したこと この作品のおもしろいところ）

楽しいリズム創作 相互評価表

組 番 名前

番号	氏 名	関心・意欲・態度	音楽表現の技能		音楽表現の創意工夫		鑑賞の能力	A = 2点 B = 1点 合計 = 10点
		ノリノリ (ABC)	声の大きさ (ABC)	リズムの 正確さ (ABC)	ペアと呼吸 (ABC)	内容のユニークさ (ABC)	聴く態度 (-1)	
1101								
1102								
1103								
1104								
1105								
1106								
1107								
1108								
1109								
1110								
1111								
1112								
1113								
1114								
1115								
1116								
1117								
1118								
1119								
1120								
1121								
1122								
1123								
1124								
1125								
1126								
1127								
1128								
1129								
1130								
1131								
1132								
1133								
1134								